

自公過半数割れ



発行所
山陰中央新報社

松江市殿町383
郵便番号 690-8668
電話 総合案内 0852(32)3440

号外



山陰中央新報の購読お申し込みは
0120-49-2550
受付時間 9:30～17:30（日曜、祝日除く）

参院選

議席大幅減、物価高対応に批判

首相は続投表明、責任論も

第27回参院選は20日、投票された。自民、公明両

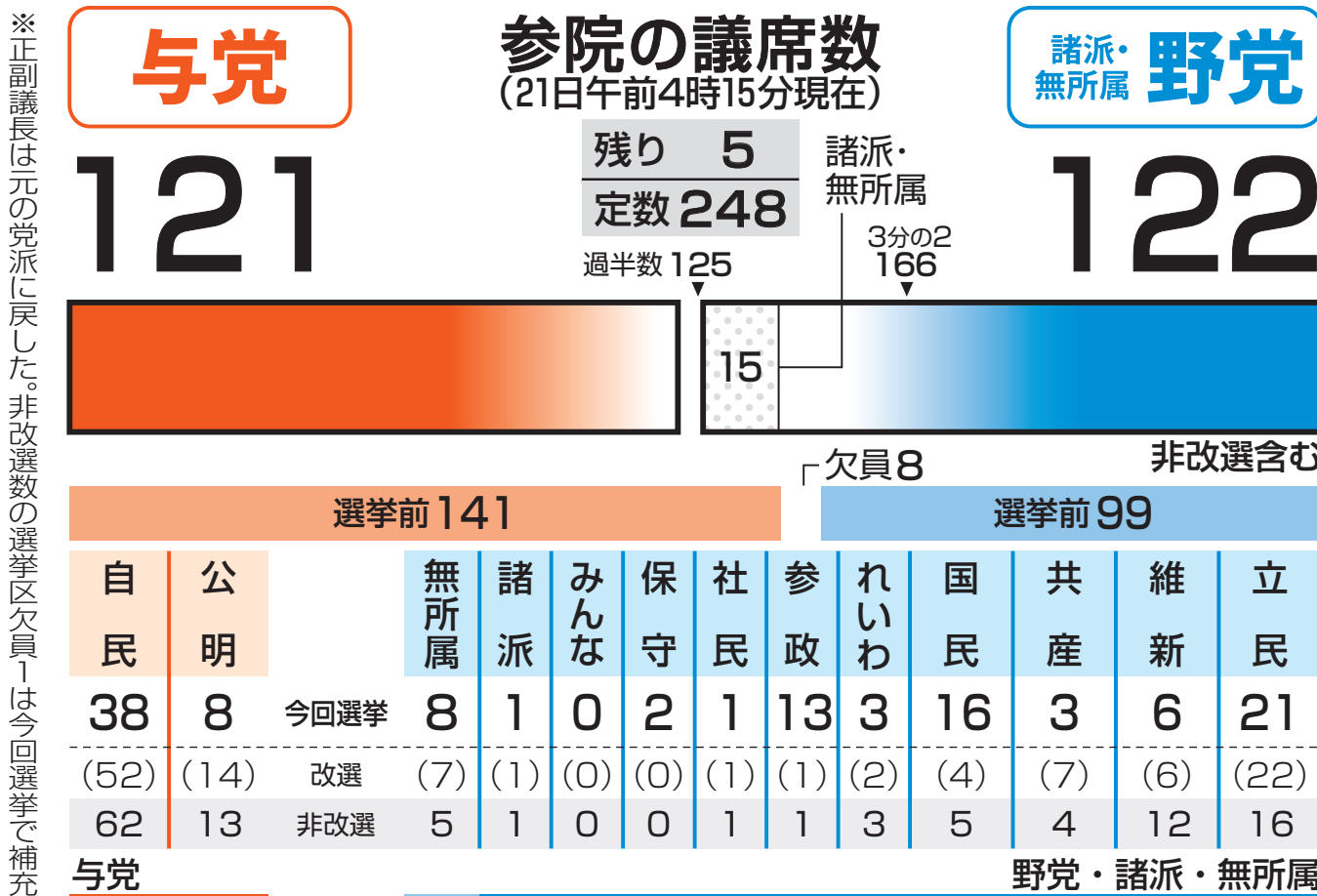
党は計66の改選議席を大幅に減らす大敗で、非改選75

を合わせても参院全体で過半数（125）を割り込んだ。

物価高対応への批判が響いた。石破茂首相（自民



メディアのインタビューに答える自民党総裁の石破首相＝20日午後11時2分、東京・永田町の党本部



（総裁）は続投する意向を表明。ただ衆院に続き参院でも少数与党に転落したことで、党内から責任論が出るのは必至だ。立憲民主党は改選22からの上積みを図ったが不振。国民民主党は改選4から16に、参政党は改選1から13に伸ばした。21日午前4時15分時点で、改選52の自民は38、改選14の公明は8に後退した。立民は21。日本維新の会は改選6を維持した。共産党は改選7から3に減らした。れいわ新選組は改選2から3に増やした。日本保守党は2議席、政治団体の「チームみらい」は1議席を獲得した。社民党も1議席を確保した。みんなで作る党は議席に届かなかった。

今回の参院選は、改選124（選挙区74、比例代表50）と東京選挙区の非改選欠員1補充の計125議席を争った。

共同通信社が21日午前3時現在で集計した推定投票率（選挙区）は58・52％。最終的な投票率は、前回2022年の52・05％を上回る見通しだ。